

## 令和7年度 第1回 入野小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月8日（木） 14時から15時30分まで
- 2 開催場所 入野小学校 会議室
- 3 出席委員 山田 渉、岩田 邦泰、青木 有美、中村 勝彦、水上 孝徳  
河口 光善、古橋 明美 原田 実穂、朝比奈 孝、北村 香苗
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 野嶋 俊之（入野協働センター所長）
- 6 学校 坪井 百合子（校長）、江間 慎一郎（教頭）、  
阿部 恭大（教務主任）  
伊藤 修平（生徒指導担当）、辻村 佳之（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 辻村 佳之
- 9 会長の選出及び副会長の指名  
司会から会長を山田委員に、山田委員から副会長を青木委員にお願いする旨の報告があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 議長の選出  
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、山田委員から中村委員を推挙する旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。
- 11 協議事項
  - （1）学校経営方針について
  - （2）いじめ防止基本方針
  - （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 12 会議記録  
司会の教頭から、委員総数の過半数の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。
- 13 熟議
  - （1）学校運営の基本方針について  
議長の指示により、校長から令和7年度学校経営方針とランドデザインについての説明があった。今年度より「第4次浜松市教育総合計画」がスタートし、「主体性、多様性・包摂性、信頼・協働」がキーワードとして示された。特に「多様性・包摂性」については本校の外国にルーツをもつ児童への支援にもつながる。その理を基にとして作られたものがランドデザインである。学校教育目標「夢をもち学び合う子」の育成に向けて、「多様性・包摂性」を支える体制作りや「子どもファースト」の理念

を大切にしたい学校運営をしていくとともに地域の皆様を含めた「チーム入野」として一緒に教育活動を進めていきたいとの話があった。

校長の説明を聞き、委員からは以下の意見や質問があった。

- ・わかりやすい説明で教育方針がより深まった。多様性に取り組んでいくことは、先生方だけでは難しく、負担がかかるので何か方法を考えていけたらと思った。また、新しい電子機器をどう有効活用していくか検討してほしい。(中村議長)
- ・夢を大切にしてほしい。(岩田委員)
- ・昨年度からの自己肯定感の継続と「多様性」について子供たちがどう思っているかが気になる。(水上委員)
- ・交通事故や校内のけがが多いと聞き、安心・安全な学校に努めてほしい。(朝比奈委員)
- ・多様性が広がるといい。ぽかぽかカードが自己肯定感のために取り組んでいるとは知らなかった。カードをもらえれば子供は嬉しそうだった。(北村委員)
- ・本校の弱み(自己肯定感が低い状況)について、他校はどうなのか知りたい。(原田委員)

→前任校では単級で一人一人が活躍する場があったので、人前でも自信をもって活動する子が多かった。人数の多い本校としてはどうなのか。(校長)

- ・入っ子祭りの復活が思い浮かんだ。ぽかぽかカードを昼の放送で紹介していると聞き、嬉しかったし、他の保護者にも知ってほしい(古橋委員)
- ・交通事故防止に向けて、地域として何かやっていきたい。(青木委員)
- ・地域の子供は地域で育てるのは当たり前で、その一助になればと思っている。(河口委員)
- ・一年間で、自分が活躍できる何かを一人一人に作ってほしい。(山田会長)

## (2) いじめ防止基本方針について

伊藤生徒指導担当より、入野小いじめ防止基本方針についての説明があった。いじめの定義についての周知やいじめ対応フローチャートをもとに学校全体で取り組んでいる。本校では「未然防止」に力を注いでいる。人間関係の在り方やぽかぽかカードの活用などに取り組み、実践している。教育活動全体でほめること実践し、自己肯定感を高めていきたい。そして、自分を好きになってほしいという願いをこめているとの話があった。

これらの説明に対し、委員からは以下の意見があった。

- ・アンケート結果から自己肯定感という課題が挙げたが、アンケートの結果をした検討する場があるとよい。昨年度から今年にかけてどの様に改善されているかを知りたい。(岩田委員)

→学校評価は年2回実施するため、夏休み以降に検討できる(教頭)

- ・不登校の原因や対象児童との関わり方は、どうしたらよいか。学校として

の関わり方の指標があれば知りたい。(水上委員)

→まずは自分たちで解決する力を育てていきたいが、教師が入って解決することも必要。不登校の原因として「いじめ」が理由の子はいない。個の特性や家族の様子によって原因はさまざまである。(生徒指導担当)

- ・とてもよい対応だと思った。(水上委員)
- ・情報提供として、5歳児検診も市の取組として行っている。(中村委員)

### (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書

続いて、教頭より令和7年度の夢育やらまいか事業についての説明があり、委員からは、以下の意見があった。

- ・6年生は祭り好きが多く、凧を作る活動や凧揚げ会の方から話を聞くのはどうか。(青木委員)
  - ・父母も凧揚げ会に入っている方がいるかもしれない。(岩田委員)
  - ・50周年を記念として3校で凧揚げ会の方に講話をしてほしいと伝えている。なぜ「義廣」を引き継いでいるか等も伝えていきたい(河口委員)
  - ・入野地区は堀留運河や佐鳴湖の歴史などの地域遺産があり、それらに関する勉強会を行うのもよいのではないかと(河口委員)
  - ・浜松祭りのラッパ隊として活躍している子もいるから、その子たちの自己肯定感を高めてあげられるのではないかと(岩田委員)
- 3年生では総合の学習で地域の良さを知る、6年生は夢をもつ取組として凧揚げ会の講話などもよいのではないかと(教頭)

## 14 連絡

### (1) 今年度の外国人児童に対する学習支援(古橋委員)

- ・ボランティアは15名、支援を要する児童は11名。様子を見ながら、再募集をかけることも考えている。また、本年度は1年生の給食サポートをできる方数名で実施した。何をどこまでサポートするのか、支援者の中で相違があり、どこまで支援し、見守るのか事前打ち合わせが必要と感じた。

### (2) 入りっ子サポーターについて(青木委員)

- ・入野小を卒業した保護者を対象としている。サポーターになると、子供たちと顔見知りになり、地域で子供に会って話ができるよさがある。

### (3) 自己評価表の様式変更(教頭)

- ・評価項目が多数あるため、今後も評価項目を考えながら、会を進めていけたらと思っている。

## 15 連絡事項

司会から、次回会議は7月24日(木)9:00から開催する旨の報告があった。